

2021年世界の自然災害(増補版)

海外消防情報センター

(1)インドネシアで大雨による土砂崩れ

2021年1月9日インドネシアのジャワ島西ジャワ州で大雨による大規模な土砂崩れが発生し、死者33人、行方不明4人であった。土砂崩れはおよそ3時間半の間に2回発生し、2回目の際には最初の発生をうけ避難誘導をしていた担当者も巻き込まれたという。

(2)インドネシアでM6.2の地震

2021年1月15日インドネシアのスラウェシ島でM6.2の地震が発生し、死者105人、行方不明3人、負傷者6,489人、損壊建物は約300棟であった。西スラウェシ州の州都マムジュでは、州庁舎や病院が崩壊した。前日の午後にもM5.9の地震が起きていた。

なお、スラウェシ島では、2018年9月、M7.5の地震で死者、行方不明4,000人超を出している。

(3)インドで氷河決壊による洪水

2021年2月7日インド北部のウッタラカンド

州で氷河が崩壊し、大規模洪水が起きた。死者28人、行方不明約170人であった。現場は、ヒマラヤ山脈が連なるガンジス川上流部の標高2,000mの地点で、氷河が崩壊して土砂とともに川に流れ込んで洪水が起き、下流にある2つのダムを壊し、5基の橋を流したという。行方不明の大半は、下流の水力発電所の建設労働者だった。

(4)インドネシア・東ティモールで豪雨災害

2021年3月29日から4月1日にわたりインドネシアのジャワ、スマトラ、小スンダ列島各地で大雨により洪水、地滑りが発生した。死者177人、行方不明45人であった。

隣国の東ティモールは死者42人であった。

(5)インドで雪崩

2021年4月23日インド北部のウッタラカンド州で雪崩が発生した。死者11人、行方不明7人、負傷者7人であった。



ヨーロッパにおける豪雨災害(オランダ)(写真: Romaine)

(6)中国で暴風災害

2021年4月30日中国東部の江蘇省南通市で暴風により死者少なくとも11人、行方不明9人、負傷者102人であった。死者は、長江に転落し流されたか、倒れた木や電柱にあたり死亡した。

(7)アフガニスタンで豪雨災害

2021年5月3日から続く大雨によりアフガニスタンの中央、北部、西部地域10州で鉄砲水が発生し、死者少なくとも37人であった。

(8)コンゴ民主共和国で火山災害

2021年5月22日コンゴ民主共和国でニラゴンゴ山(3,470m)が噴火し、溶岩がふもとにある人口150万人の大都市ゴマ郊外まで流れ出した。死者32人であった。

(9)静岡県熱海市で土石流

2021年7月3日梅雨前線による大雨に伴い静岡県熱海市伊豆山の逢初川上流部標高約390m地点の崩落が土石流化し、海までおよそ1kmにわたって流れ出たとみられる。死者26人、行方不明1人であった。現地は別荘の利用者が多いため、居住実態が把握できず、確認作業が難航した。

なお、土石流の土砂の大半が発生地点付近に人為的に作られた盛土だったことが判明している。

(10)インドで落雷

2021年7月10日、11日インド各地で落雷が発生し、北部ラジャスタン州では死者少なくとも23人、隣接するウッタラプラデシュ州では死者少なくとも42人、中部マディヤプラデシュ州では死者11人であった。

ラジャスタン州の州都ジャイプールにある観光名所となっている12世紀の歴史的な城塞「アンベール城」にも落雷し、見張り塔で見物をしていた人々が死亡している。

(11)ウズベキスタン・キルギスで土石流

2021年7月13日ウズベキスタン、キルギス国境で大雨による土石流が発生し、ウズベキスタンで死者8人、キルギスで死者6人、行方不明2人であった。

(12)ドイツ・ベルギーなどで豪雨災害

2021年7月15日ドイツをはじめ、ベルギーやオランダ、ルクセンブルグなど西欧諸国で数日にわ

たる大雨により、壊滅的な洪水がライン川流域に発生した。この地域では降雨量の記録を更新しており、1日の降水量が例年の1か月分を超えたところもあったという。ドイツでは死者180人、ベルギーでは死者38人、行方不明1人であった。

(13)中国で記録的豪雨

2021年7月17日以降中国河南省で大雨が断続的に続き、死者302人、行方不明50人であった。中心都市鄭州では20日午後5時までの一時間雨量が200mmを超え、観測史上最大となり、17日からの3日間でほぼ1年分の雨が降ったという。地元の気象局は「1,000年に一度の大雨」との見解を示した。

この大雨で洪水が発生し、鄭州の地下鉄ではトンネル内の車両が浸水し、12人の死亡が確認されている。なお、鄭州には自動車関連の日系企業が進出しており、日産自動車の合併会社の工場は生産を停止するなどの影響が出た。

(14)インドで豪雨災害

2021年7月25日インド西部マハラシュトラ州で雨期の大雨による地滑りや洪水が相次ぎ、死者少なくとも115人であった。地元紙は、マハラシュトラ州において過去40年間で最大の豪雨と報じた。新型コロナウイルス感染症患者に医療用酸素が届けられず死亡する例も続発したという。

(15)アフガニスタンで豪雨災害

2021年7月29日首都カブールから北東200kmのヌリスタン州で集中豪雨により洪水が発生し、死者113人、行方不明100人以上であった。

(16)中国で豪雨災害

2021年8月11日から12日に中国湖北省で大雨による洪水が発生し、死者21人、行方不明4人であった。12時間で503mmの雨量を計測した。水位5mの所もあったという。221棟の家屋が倒壊し、63基の橋が損壊したという。

(17)ハイチでM7.2の地震

2021年8月14日現地時間午前8時29分ハイチ西部でM7.2の地震が発生し、死者2,207人、負傷者12,268人、損壊建物は約13万棟であった。7月には大統領が暗殺され、政治の混乱や治安の悪化が続く中、政府は非常事態を宣言し災害対策を

行った。また8月16日には熱帯低気圧「グレース」が上陸し、悲惨な状況に拍車をかけた。

なお、ハイチでは2010年1月にM7.0の地震で首都ポルトープランスにある大統領府、国会議事堂など多くの建物が損壊し、死者31万人以上を出している。

(18)アメリカで豪雨災害

2021年8月21日アメリカテネシー州で記録的な大雨となり、多くの住宅で浸水し、死者少なくとも21人、行方不明約20人であった。

(19)ネパールで豪雨災害

2021年8月20日から続く大雨の影響で、洪水や地滑りが発生し、死者少なくとも11人、行方不明27人、負傷者約27人であった。

(20)ミャンマーで地すべり

2021年8月24日ミャンマーの第2都市マンダレー地域で地すべりが発生し、4棟の家屋が土砂に飲み込まれた。死者11人、負傷者3人であった。

(21)アメリカで大規模洪水

2021年9月1日アメリカニューヨーク州などで

大規模洪水が発生し、死者少なくとも82人であった。大型ハリケーン「アイダ」が熱帯低気圧に変わり豪雨をもたらした。ニューヨーク市のセントラルパークでは、1時間に80mmという猛烈な雨が降り、市に初めて鉄砲水警報が発令された。ニューヨーク州、ニュージャージー州は非常事態宣言を出した。

マンハッタンでは地下鉄の駅に濁流が流れ込み、ほぼ全線で運休した。ワシントン・ボストン間の列車も運航を休止し、ニュージャージー州のニューアーク国際空港も約370便がキャンセルとなった。

(22)パキスタンで豪雨災害

2021年7月1日からのモンスーン期における大雨による洪水、地滑りで、死者187人、負傷者282人であった。

(23)フィリピンで台風13号Conson

2021年9月7日フィリピンで台風13号Consonにより死者20人、行方不明3人であった。

(24)インドで豪雨災害

2021年9月26日インドで熱帯低気圧Gulabによる洪水などで死者26人であった。



ハイチにおける地震(写真:アメリカ合衆国国際開発庁)

(25)パキスタンでM5.9の地震

2021年10月7日未明パキスタン南西部バルチスタン州でM5.9の地震が発生し、死者少なくとも20人、負傷者100人であった。

(26)中国で豪雨災害

2021年10月中国山西省で記録的大雨に見舞われ、死者15人、行方不明3人であった。10月の降水量は127mmと平年の13倍で、37本の河川が氾濫し、有数の石炭産地である同省の60か所の炭鉱が閉鎖に追い込まれている。

(27)インド・ネパールで豪雨災害

2021年10月19日にかけて大雨が降り続きインド北部のウッタラカンド州で洪水や土砂崩れにより死者46人、行方不明複数人、南部ケララ州でも土砂崩れが相次ぎ死者少なくとも27人であった。

隣国のネパールでも大雨による土砂崩れが起き、死者31人、行方不明40人であった。

(28)インドで大規模洪水

2021年11月18日からの大雨でインド南部アンドラプラデシュ州の複数の地域で大規模な洪水が発生し、バス3台が激流に飲まれるなどした。死者少なくとも17人、行方不明数十人であった。

(29)インドネシアで火山災害

2021年12月4日インドネシアジャワ島のスメル山(3,676m)が噴火し、死者48人、重傷者18人であった。大量の火山灰が降り、火山灰などで埋まった家屋や車両が多数残っている。

インドネシアは環太平洋火山帯に属し、国内に127の活火山を持つ世界有数の火山国である。スメル山は今年1月にも噴火していた。

(30)アメリカで竜巻

2021年12月10日から11日にかけてアメリカ南部中西部の6州で竜巻が相次いで発生し、建物が倒壊するなど甚大な被害が出た。死者ケンタッキー州で77人、イリノイ州などで14人、行方不明はケンタッキー州で1人であった。

アメリカ南部から中西部にかけては、南のメキシコ湾から暖かく湿った空気が、北のカナダ側から冷たく乾いた空気が流れ込み、竜巻が発生しやすい竜巻街道として知られているが、多くは春に発生し、12月にこれほど大きな被害が出るのは珍しいという。8州で50個以上の竜巻が発生し、うち一つは約365kmとアメリカ史上最も長距離移動したという。「歴史上最大規模の竜巻被害」と大統領がコメントした。

(31)フィリピンでスーパー台風22号Rai

2021年12月16日から17日にかけてフィリピン中部を台風22号Raiが直撃し、死者375人、行方不明56人、3,800棟余りの住宅が倒壊し、38万人以上が避難をした。フィリピン赤十字は、沿岸部が完全な修羅場と化し、家屋や病院、学校が粉々になったと報告した。最大瞬間風速は秒速75mを記録するスーパー台風であった。

(32)マレーシアで大規模洪水

2021年12月17日から大雨が降り続き、マレーシアで過去数十年で最悪規模の洪水が発生し、首都クアラルンプール近郊のセランゴール州などで、死者少なくとも14人、6万人以上が避難した。トヨタ自動車の現地工場が稼働を停止するなど日系メーカーに影響が出ており、また、マレーシアには半導体関連の工場も集まっているだけに、事態が長期化する場合、世界のサプライチェーンへの影響も懸念される。

なお、マレーシアでは、12月から2月までモンスーンの季節で、洪水被害に見舞われやすいという。

(33)ブラジルで大規模洪水

2021年12月上旬から断続的に続いた強い雨により、ブラジル北東部のバイア州で大規模な洪水が発生し、死者21人、負傷者350人以上、被災者は47万人以上という。12月の降水量は平年の6倍超になるという。25日から26日にかけては州内の2つのダムが決壊した。

※本記事は「月刊フェスク」2022年1月号掲載分に11月以降に発生した自然災害を追記したものです。